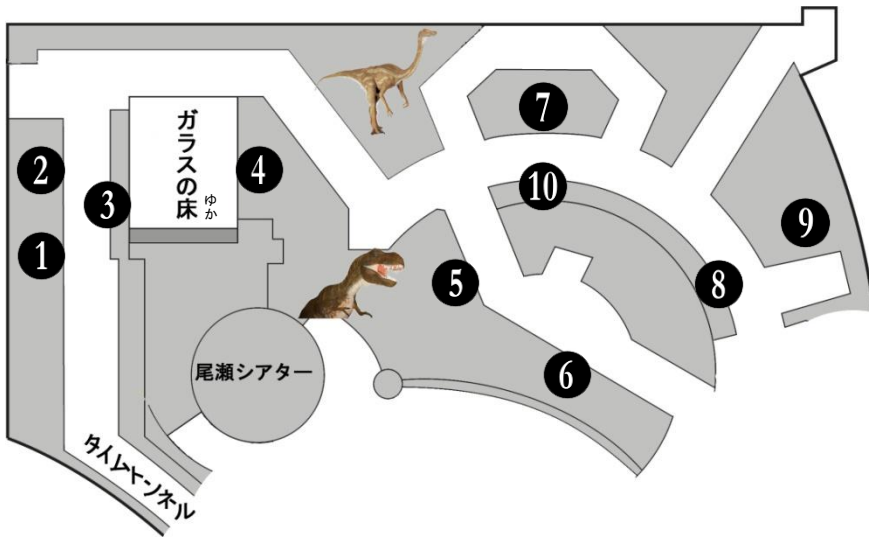


### 名前

地面の下にはれき（小石）や砂、ねん土などが広く層になって積み重なった地層が広がっています。また、地層の中からは、貝や木の葉などの化石が見つかることがあります。自然史博物館のAコーナー（地球の時代）で地層や化石について地図の番号をたよりに観察し、土地のつくりとでき方について調べましょう。



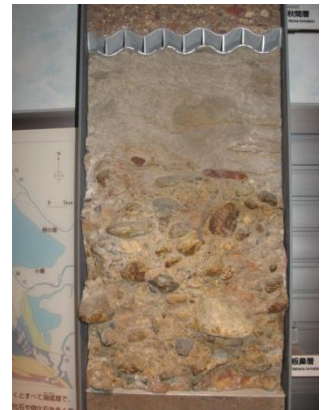
1 ⑩にある「群馬県の第三紀の地層」を観察して次の問題に答えましょう。

(1) 地層をおおまかにスケッチしましょう。



群馬県の第三紀の地層 スケッチ

(2) 「群馬県の第三紀の地層」の上部にある板鼻層を観察すると、地層の中にたくさんにれきが入っています。れきを観察して、次の特徴のうち正しいと思うものの（ ）に○を書きましょう。



- ( ) 角ばっているものが多い
- ( ) 丸みをもっているものが多い
- ( ) 角ばっているれきと丸まっているれきが同じくらい混ざっている

(3) 地層を観察すると、れきや砂、ねん土などでできていて粒の大きさがそろって積み重なり、層を作っています。どうして粒がそろっているのか、地層ができた原因も考えて理由を書きましょう。

(板鼻層のれきの特徴や、5年生で学習した河原の様子を参考にしましょう。)

※このような地層の中からは化石が見つかることがあります。つぎは化石について調べましょう。

2 次の ① ~ ⑨ の化石の名前について、○にはカタカナ、□には漢字を書きましょう。

(表の地図の数字をたよりに、化石を探して答えましょう。)

①



○ ○ ○ サンゴ

※暖かく浅い海にすむ生物です。

②



□ □ □

※エビやカニの仲間です。

③



○ ○ ○ ○ ○  
○ ○ ○ ○ ○

※大昔に生きていた魚です。

④



○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

※3本の角をもつ恐竜です。

⑤



○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ の卵

※恐竜の卵です。

⑥



○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

※植物を食べる恐竜です。

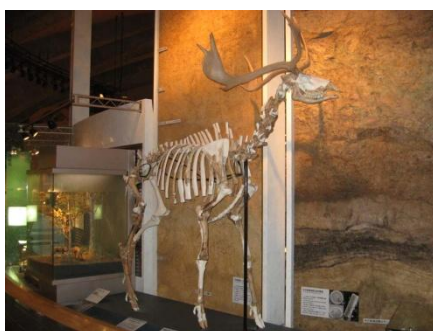
⑦



○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

※群馬県でも発見されたほ乳類です。

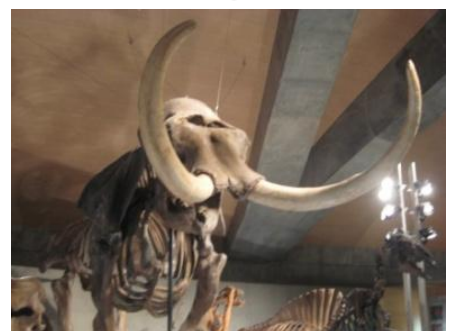
⑧



○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

※自然史博物館がある富岡市上黒岩で化石が発見されました。

⑨



○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

※暖かい地域にすんでいました。

小学6年 【土地のつくりと変化】解答

1

(1) 略

(2) 丸みをもっているものが多い

(3) 流れる水のはたらきで運ばれた、丸みをもったれき、砂、ねん土が、湖や海に流れ込むと時に、粒の大きさがずみ方が違うため、粒がそろってつみかさなる。

2

①クサリ ②三葉虫 ③ユーステノプテロン ④トリケラトプス ⑤サルタサウルス

⑥カマラサウルス ⑦パレオパラドキシア ⑧ヤベオオツノジカ ⑨コロンビアマンモス